

阪和興業 中期経営計画の進捗状況

## (1) 定量目標に対する実績

計 画 期 間		2016年度から2019年度							(ご参考)	
		2016年度 (実績)	2017年度 (実績)	2018年度 第2四半期 (実績)	2019年度 (目標)	2020年度 (目標)	2018年度			
							(進捗率)	(新予想)		
業績目標	売上高 (億円)	15,140	17,911	20,000	10,049	50.2%	20,000	21,000	22,000	
	経常利益 (億円)	① STEADY	191	201	210	86	41.1%	200	220	230
		② SPEEDY	31	58	60	28	46.8%	60	70	80
		小 計	222	260	270	114	42.4%	260	290	310
		③ STRATEGIC	7	△ 6	30	△ 6	-	0	60	70
		調整額	0	0	-	0	-	-	-	-
連結財務諸表計上額	229	255	300	108	36.1%	260	350	380		
新規ユーザー獲得社数 ( 累 計 )		697	601	701	392	55.9%		(701)		
投資総額 (億円) ( 累 計 )		112	291		82					
		(112)	(403)		(485)	(97.0%)		500		

- ※① STEADY… 既存の事業基盤からの収益  
(当社子会社及び③に該当する戦略的投資先からの受取配当金を控除した当社単体の経常利益)
- ② SPEEDY… 投資したグループ会社からの収益  
(当社連結子会社の経常利益、非連結子会社からの受取配当金及び持分法投資損益 (③に該当する戦略的投資対象会社分を除く))
- ③ STRATEGIC… 戦略的投資からの追加収益  
(金属資源を中心とする戦略的投資先からの持分法投資損益及び受取配当金)

## (2) 進捗状況

①STEADY及び②SPEEDYからなる当社グループの経常利益の通期予想に対する進捗率は42.4%となりました。一方、資源投資からの収益である③STRATEGICについては、当第2四半期連結累計期間における利益への貢献には至りませんでした。3つの「S」それぞれの状況は、以下の通りです。

- ① STEADYについては、概ね堅調な需要推移の中、鋼材や各種金属類を中心に販売収益を伸ばしましたが、経常利益については為替差損の影響などにより、標準進捗率を下回りました。
- ② SPEEDYについては、国内・海外とも連結子会社及び持分法適用会社の業績は概ね想定線上で推移しました。
- ③ STRATEGICについては、持分法適用会社であるSAMANCOR CHROME HOLDINGS PROPRIETARY LTD. (以下、SAMANCOR社)の業績が、同社が過年度に買収した連結子会社の稼働準備に時間を要しており費用が先行している他、フェロクロム価格の下落や南アフリカランドの為替変動の影響などにより、当第2四半期連結累計期間における利益への貢献には至りませんでした。SAMANCOR社からの持分損益は利益を確保しているものの、同社株式に対するのれんなどの償却処理も含めると約6億円の損失となりました。

(注) 上記の定量目標数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって目標数値と異なる場合があります。特に③STRATEGICについては、今後の資源価格や為替などの動向により、変動する可能性があります。

以上